

学校教育目標

将来への夢を持ち、夢の実現に向かって、 たくましく生きる山田っ子の育成

校訓<やさしく かしこく たくましく>

経営ビジョン：「想像力」と「行動力」

令和3年度 山田小の目指す児童像「や」「ま」「だ」

「や」

やり方を自分で考える

かしこく(知)

- 1 学力向上の取組
- ・熊本の学び推進プラン実践
 - ・ICT教育の積極的推進
 - ・少人数指導の拡充
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・学習規律の徹底
- 2 家庭学習の習慣化
- ・タブレット端末の活用促進
- 3 読書活動の充実
- ・数値目標の設定
 - ・図書館の利活用の促進
- 4 各教育活動の充実
- ・外国語教育の小中連携
 - ・キャリア教育の推進

「ま」

毎日の生活を自分で整える

たくましく(体)

- P 1 健康な体の育成
- ・問題解決型学習を取り入れた体育授業の実践
 - ・体力テストの分析と活用
- 2 健康教育の推進
- ・感染症予防の指導と実践
 - ・健康診断結果の活用と指導
 - ・フッ化物洗口での齲歯予防
- 3 安全指導の徹底
- ・登下校時の指導の徹底
 - ・危険予測能力の育成
 - ・防災教育、避難訓練等
- 4 食育の推進
- ・望ましい食習慣の形成

「だ」

誰とでも関わり合う

やさしく(徳)

- 1 あいさつの徹底
- 2 道徳の時間の充実
- ・考え方議論する道徳の時間
- 3 人権が尊重される学校
- ・推進体制の機能強化
 - ・命を大切にする心を育むプログラムの積極的推進
- 4 いじめの根絶
- ・教育相談の積極的な実施
 - ・アンケートの分析と活用
 - ・関係機関との連携
- 5 環境教育・整備の徹底
- ・無言清掃の徹底
 - ・学校版環境ISOの取組

配慮を要する児童への指導

- ・児童理解の時間を有効活用する。
- ・児童理解等での情報は継続して記録として残す。
- ・特別支援教育コーディネーターが外部関係機関(支援学校 SC SSW等)との連絡調整を行う。

A

指導体制の充実

- 「指導主事活用事業」等を活用した授業改善
- 報・連・相の徹底ニ組織で対応する危機管理
- 働き方改革による子どもと向き合う時間の確保
- SSWやSC等の外部機関との連携・協働

小・中連携教育の推進

- 山江中学校及び万江小学校との連携
 - ・3校合同研修会の実施、校内研究テーマ並びに研究の視点の3校共有
- 育ち部会での児童生徒の情報交換と共有

安心・安全(命を守る教育)

- 避難訓練(年3回)と防災教育の実施
- 学校安全研修の実施 ○通学路点検
- 定期・臨時の安全点検の実施
- 救急救命法の実施(AED・エピペン)

C

地域とともにある学校づくり

- コミュニティ・スクールの取組
 - ・学校運営協議会による学校支援
- 地域に学ぶ教育活動の実施(五者の連携)
- 積極的な学校情報の発信(HP)と公開

「ふるさと観」の醸成

学校プライド：「一生懸命がかっこいい」～私たちは山田小の児童・職員です～